

橋梁デザインのゆくえ

EA協会WEBの特集

「橋梁デザインのゆくえ」の関連企画として、記事執筆者に篠原会長を加えた5名によるトークライブを開催いたします。土木デザインの花形である橋梁のデザインをとりあげることによって、いま土木のデザイナーに求められている役割、橋梁デザインの未来について探っていきます。特集記事をご一読の上、是非ご参加下さい。

2013年1月25日[金] 18:00 - 20:00

EAU地下スペース 東京都文京区本郷 6-16-3 幸伸ビル B1F

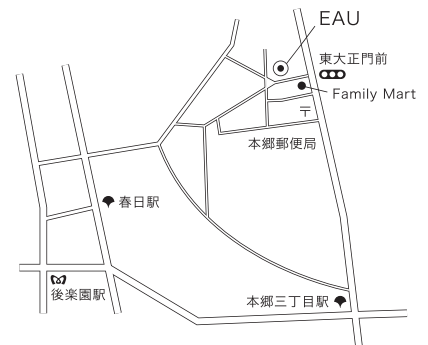
[主催] エンジニア・アーキテクト協会 www.engineer-architect.jp

[参加費] 一般 1,000円/学生 500円/EAA会員 無料
終了後、懇親会を行う予定です。(会費¥2,000程度)

[定員] 35名(申込制)

[申込先] 佐多祐一(設計領域) ▷ sata@s-sr.jp

※参加ご希望の方は「お名前」、「ご所属」、「参加人数」、「懇親会への出欠」を明記の上、1月22日[火]までにメールにてお申し込み下さい。



篠原 修 EAA協会会長
土木設計家、東京大学名誉教授
1945年栃木県生まれ、神奈川県育ち。東京大学大学院工学系修士課程修了。アーバンインダストリー、東京大学農学部林学科助手、建設省土木研究所、東京大学工学部教授、政策研究大学院大学教授などを経て現職。工学博士。主な著書に「土木造形家百年の仕事」、「土木デザイン論」。主な設計指導に、勝山橋、油津堀川運河、桑名住吉入江、津和野川、吉田ダム(いずれも土木学会デザイン賞受賞)。



大野美代子 EA協会
M+M デザイン事務所
岡山県生まれ。多摩美術大学デザイン科卒業。スイス オットー・グロウス建築設計事務所を経て1971年M+M デザイン事務所を設立、家具デザイン、病院等のインテリアデザインをてがける。1976年、初めて参加した連根歩道橋は土木学会田中賞を受賞。以後、かつしかハープ橋、ヨコハマベイブリッジ、横浜市「フランス橋」、広島市「鶴見橋」、熊本県「鮎の瀬大橋」、新東名の橋梁などをデザイン。



二井昭佳 EA協会
国土館大理工学部都市ランドスケープ学系 講師
1975年生まれ。山梨県出身。東京工業大学大学院社会理工学研究科社会学専攻修士課程修了後、アジア航測(株)にて橋梁設計に従事。2007年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻博士課程修了、同年より現職。工学博士。著書に「まちづくりへのプレイクスルー(共著)」、主な設計作品・設計指導に、セントレアラインりんくう高架橋、広島南道路太田川放水路橋(国際コンペ最優秀賞受賞)、牛久市中央地区まちづくりなど。



高楊裕幸
大日本コンサルタント株式会社景観デザイン推進部長、法政大学兼任講師
1961年東京都中野区生まれ。芝浦工業大学土木工学科卒業。技術士(総合技術監理部門、建設部門)。主な共著に、「美しい橋のデザインマニユアル【第2集】」、「橋の景観デザインを考える」、「ブリュッゲン」、「道路のデザイン」。主な受賞作品に、「志賀ルート」、「南本牧大橋」、「吉田ダム橋梁群」、「新豊橋」(土木学会デザイン賞、グッドデザイン賞)。国土交通省優良業務表彰多数。



渡邊竜一
株式会社ネイ&パートナーズジャパン
1976年山梨県生まれ。東北大学建築学科、東北大学大学院都市建築学専攻修士課程修了後、ステューディオ・ハン・デザインにて、公共空間の企画・PR デイレクション(工事中景)から空間デザイン、高速道路シークエンスデザインなど都市空間、土木構造物を対象としたデザインに携わる。2008年、Ney&Partnes(ベルギー)にプロジェクトアーキテクトとして勤務、橋梁および構造物のデザインに取り組む。2012年、株式会社ネイ&パートナーズジャパンを東京に設立。街の小さな橋プロジェクトなど日本で幾つかのプロジェクトが進行中。